

## サークル協 第18回定期 総会を開催

六月十五日、十三時より、動力労千葉仮事務所にて、第十八回定期労働サークル協議会定例会が開催された。

まず、司会の後藤副議長により議事は進行され、その後、田中書記長によるあいさつを受けた。

『このサークル活動が、今でも続いているのは、動力労千葉の団結の力だ。今は、一年間で、ポウリング大会・地引き綱大会・ゴルフ大会・団結運動会の四つの行事しか出来ていないが、これまで取り組んでいた、囲碁・将棋大会や麻雀大会等もまた、



**地引き綱大会**  
あつまろう  
◎7月16日(日)9時  
九十九里-松海岸  
◎海の家「あいの」

行なっていきたい。そして、サークル活動を通して組織拡大を勝ちとり、新たな行事も増やし

ながら、これからも意気軒高に活動していこう』と、これからサークル協議会としての取り組みを訴えた。

## 7・8 狭山闘争 ～異議審勝利を誓う!

七月八日、午後一時三十分より、千駄ヶ谷区民会館に於いて、部落解放同盟全国連合会は「高木決定一カ年糾弾! 異議審闘争勝利! 七・八狭山中央闘争」に解放共闘の仲間と共に、総勢二五〇名が決起した。

集会では、全国連の仲間より、『一年前の七月八日を絶対に忘れることはできない。一度の事実調べも行わずに、無実の石川一雄さんを三十七年間も獄中に叩き込んだ、東京高裁高木俊夫裁判長による決定に対し、満腔の怒りをもって弾劾する。後を継いだ高橋省吾裁判長も、事実調べを一度も行っていない。このような高橋裁判長による早期棄却決定を許さず、この七

## 「三里塚が勝てば世の中 変わる」(北原事務局長)

### —7・2集会うちぬく—

七月二日、成田市東峰において、三里塚芝山連合空港反対同盟主催による「暫定滑走路建設阻止、農家追い出しの軒先工事粉砕」三里塚現地総決起集会が約五百名の結集で開催された。

集会では北原事務局長が基調報告を行い、「三四年前の七月閣議決定され、過ちがここから始まった。空港を粉砕しなければ日本の未来はない。沖縄サミット、八・六広島一八・九長崎、九・三闘争を全力で闘おう。まず三里塚が勝利することが世の中をかえることになる」と訴えた。

つづいて特別報告にたった田中書記長は、「三里塚、国鉄ともにも勝利してきている。きのう国鉄闘争は、大きな勝利の一步を歩き始めた。国労が一〇四七名の採用差別について『JRに法的責任がない』ことを決定したならば、それは解雇をみとめ労働者の魂をうることになる。国労臨時大会は、怒りの声に包まれ、本部提案を採択できず休会となり無効にした。動力労千葉は、反対同盟とともに闘う」と訴えた。